

「マダニ」について (ご利用の皆様へ)

野外活動で付着する可能性がある、「マダニ」について、下記の事項をご確認ください。

団体利用時には、引率責任者から参加者へ下記情報の周知をお願いいたします。

マダニって？

マダニは、主に郊外の森林や草地などに生息していますが、市街地の公園や草むらにも生息し全国に分布しています。活動時期は、春先から秋ころまでが活発です。体にとりついてすぐにはかまず、体のやわらかい部位を探してかむ習性があります。

かまれて吸着されても痛くもかゆくもない場合が多いので、なかなか気付きません。むやみに恐れる必要はありませんが、かまれないようにすることが必要です。

感染症を媒介するマダニも存在します。最近では、重症化する新たな感染症や、死亡例の報告もありますので注意が必要です。

マダニ写真出典:バイエル薬品 HP より



大きさは3～4mm程度
(吸血前)

予防のために、野外活動時のポイント

長袖、長ズボン・帽子はもとより、可能な限り肌の露出を避けた服装でマダニの侵入を防ぐ対策が有効です。

野外での活動が終わったら、屋内に入る前に必ず衣類の上を手で払う、上着を脱いで叩くなどが有効です。衣服のほか、髪の毛に入り込んでいる場合も多いようです。

入浴する際に、特に首から背中、お腹や脇腹、耳の裏など体の柔らかい部位を中心に、かまれていないかの確認が有効です。

活動の合間や、帰宅後にご自宅で衣服や体にマダニが付着していないか、都度ごとの再確認が有効です。

もし、かまれてしまったら・・・

マダニを無理にとろうとすると、マダニの体の一部が皮膚の中に残る場合があります。

かんでいるマダニを見つけた場合は、皮膚から取り除かず、速やかな医療機関受診をお勧めいたします。

滝野自然学園

[参考]

札幌市保健所 (マダニが媒介する感染症について)

<http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f1kansen/f33madani.html>

国立感染症研究所 (マダニ対策、今できること)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>